

# 環境特集

## グリーン経営認証

# トラック着実に増加

## トップの姿勢が効果生む

交通エコロジー・モビリティ財団(井山嗣夫会長)が認定する「グリーン経営認証」。マニュアルに基づく事業者の環境改善努力を認証マークの付与により証明し、運輸業界(トラックやバス、タクシーなど七業種)の環境負荷低減を図る制度だ。

トラック運送事業者の認証は平成十五年十月に開始。十五年度に二百六

交通エコロジー・モビリティ財団(井山嗣夫会長)が認定する「グリーン経営認証」。マニュアルに基づく事業者の環境改善努力を認証マークの付与により証明し、運輸業界(トラックやバス、タクシーなど七業種)の環境負荷低減を図る制度だ。

トラックは、地域差があるバスやタクシーと違い、全都道府県で認証を取得しており、全国に浸透しつつある(交通エコロジー・モビリティ財団

の加藤信次交通環境対策部長)。

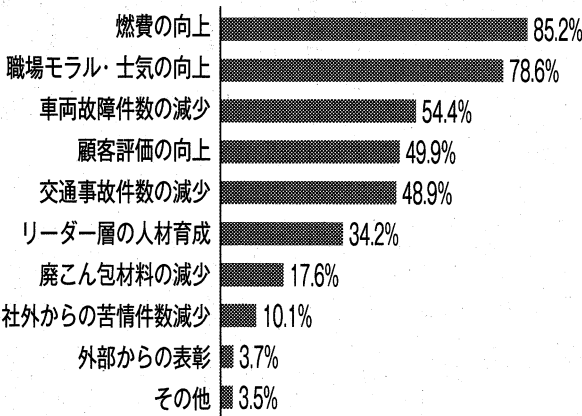
さらなる認証取得拡大には課題も。「中小規模の事業者でも、容易で継続的な環境保全の取り組みを」の目的で創設された制度だが、従業員二十人以下の小規模事業者の取得はまだ少ない。

中小事業者の取得拡大に向け、グリーン経営認証の説明会や講習会を全

国で年八十回ほど開催。加藤部長は「小規模事業者の取得をいかに増やすかが課題。取得した小規模事業者の工夫やノウハウをヒアリングしPRすることも必要」と話す。

グリーン経営認証取得の効果・メリットとしては、全業種で「燃費の向

トラック事業者が回答した認証取得後のメリット



出典:「グリーン経営認証取得による効果(平成21年度版)」

上」を挙げる登録事業者が最多(二十一年度の調査からヒケラフ)。「車両故障減少」「交通事故減少」「顧客評価の向上」といった二次的な効果を実感する事業者も多い。

### やる気向上の 効果も大きく

従業員のやる気向上も大きな利点。トラック運送業の登録事業者の八割近くが取得により「職場モラル・士気の向上」の効果を得たという。グリーン経営認証は、企業の体質改善にも活用できるツールだ。

「取得の効果あり」の声が多い一方、「取得した効果が効果がない」という感想も。加藤部長は「効果の有無は」トップの姿勢に尽きる。効果を出す事業者はトップ自らが環境問題への取り組みにやる気と関心を持ち、覚悟を示している」と話す。

「環境問題も経営の一部として積極的な取り組みを」の意味が込められた「グリーン経営」。荷主の要請だから「周りが取得しているから」ではなく、トップのグリーン経営への関心とやる気こそが、環境改善で結果を出すカギともいえる。

(水谷 周平)